

政治資金残りあと

138,561円

情報公開の第一歩 政治資金を見えるようにします。

前回までの残高 137,349円

収入

寄付 ヤマオカさん 6,000円

自己資金 50,000円

支出

印刷代（月刊武松印刷代） 23,262円

交通費（駐車場、燃料代） 19,117円

通信費（携帯電話） 12,409円

収支計 03/7/1～03/9/1 1,212円

市政を考える

月刊武松

発行日

03/9/1

第46号

8500部発行

たけまつ

ただし

頒布責任者：武松 忠

武松政策研究会

スパウザ購入議案提出!?

9月定例会に補正予算8億6千万円!!

■購入資金は3基金から繰替運用

宿泊施設の購入資金は、以下の3基金より、繰替運用金として、小田原市宿泊等施設事業特別会計に繰入れ、**8億5095万円で購入**する予定です。

ふるさと文化基金繰入金 2億5000万円

社会福祉基金繰入金 2億5000万円

ふるさとみどり基金繰入金 3億6000万円

3基金はそれぞれ、各種団体や市民等の寄付を積立て、その利子を文化団体への補助金、福祉団体への補助金、街路の花等に使われてきました。

これが近年の低金利とペイオフ対策で普通預金に預け替えるなどで、さらに低金利となり、基金の利子だけでは、事業の継続が出来なくなりました。

普通預金の金利は、現在0.001%です。1億円預けても千円の利子にしかなりません。

そこで年間賃貸料4億3千万円を元に、その利率を国債相当(0.9%)として、各基金に返済するものです。この場合、2.5億円の利子は225万円、3.6億円の利子は324万円となり事業継続ができるというものです。

■ヒルトンホテルの日本での歴史

私は、ヒルトンに良い印象を持っています。ヒルトン・ハワイアン・ビレッジは利用したことがあります。部屋の鏡台の引き出しにはヒルトンのポリシーを書いた冊子があり、その内容に感銘を受けた記憶があります。また、ワイキキから少し離れたダイヤモンドヘッドの近くのカハラ・ヒルトン（現カハラ・マダリ・カハラ）に泊まるのが憧れでした。

ヒルトンの日本での歴史を調べてみました。

1958年 アメリカのヒルトンホテルズ・インターナショナルと東京急行電鉄の合併会社として**東京ヒルトンホテル株式会社設立**

この提携の背景には、アジア地区に拠点を広げたいヒルトンと、国際級ホテルの経営ノウハウを得たい東急の思惑が一致したと言われています。

1963年 東京ヒルトンホテル開業（客室数500室）

ヒルトンと東急の契約は、開業後20年。

1967年 ヒルトンと東急が契約を巡るトラブルを起こし、一時期ホテル名が変わる等の事件が発生。

1983年 12月31日、永田町の東京ヒルトンホテルは閉じられ、翌1984年1月1日からキャピトル東急ホテルとなる。

1984年 9月西新宿に東京ヒルトンホテル開業

現在 日本国内に6つのホテルを経営

東京(西新宿)、東京ベイ(浦安)、大阪(梅田)
名古屋(中区栄)、小樽、成田

■市民説明会を開催します！

市議会の特別委員会で開催を要望し実現しました。

<第1回目>

日時：9月9日（火）午後7時から9時まで

場所：小田原市保健センター 大会議室（4階）

<第2回目>

日時：9月10日（水）午後7時から9時まで

場所：市民会館 第7会議室（6階）

■スパウザの買取に賛成します。

私は行政が、宿泊事業をすべきではないと思いますが、結果的に**ヒルトンが選ばれたことを評価**しています。少なくとも「勤労者リフ…」よりは、「ヒルトン小田原スパ&リゾート」となるだけで、ホスピタリティが向上した気がします。

せっかく、ヒルトンに行くのであれば、少し上等なドレス、スーツを… 結婚式場に… 会社のトップや取引先の役員との会食や接待に…

周辺企業や市民も、ヒルトンの付加価値を利用しようと思います。

ヒルトンを自分の別宅や応接間のように賢く利用し、私達のホテルとすると**地域の活性化や上級化が図られるもの**と期待しています。

私は、スパウザの買取りに**賛成**します。

2期目はどう?

最近、2期目の感想をよく聞かれます。特に変わったことはないのですが、様々な会合に出ると、よく声をかけられますので、知名度が上がったようです。

議会の雰囲気は、新人議員が皆年上ですので、議会がリフレッシュされたという実感はありません。彼らは、本会議の一般質問も非常に上手で、逆に2期の議員が目立たなくなっていました。

しかし、4常任委員会のうち、3つの常任委員会、議会運営委員会、議会だより編集委員会の副委員長が2期の議員で占められ、その責任は非常に重く

なっています。

特に常任委員会の副委員長は重要で、委員会を活性化させる要となります。所管事務調査の内容やその資料の事前チェック、委員会当日の進行補佐や答弁漏れのチェックなど様々な能力が要求されます。

ただし、問題意識を持たず、そのまま流しても、進行上大きな問題が発生するわけでもありません。

議員の調査権は、委員会に諮られ始めて効力を持つものですから（議員個人に調査権はない）行政のチェックを行う委員会の要であるという認識を、2期議員の皆で共有できるように行動し、委員会を活性化させ、行政のチェック能力を高めていきたいと思います。

The Voice 今までに頂いたご意見から

競輪場は近隣住民の犠牲の上に成り立っている。

60代 男性

8月12日に競輪場の視察に行かれたようですが、競輪開催時の競輪場周辺の交通状況を視察されましたか? 時間帯によっては自動車が競輪場前の片道1車線の道路に縦列に一時駐車され、対向車の通行もままならない状況になりました。

現在の競輪場は近隣住民の犠牲の上に成り立っているのが現状です。視察に行かれるのも結構ですが、折角行かれたのであれば競輪場周辺の環境、全ての視察をされたい。

単に売り上げを伸ばす為の視察であれば日本競馬会のように場外車券売り場を、小田原市も各施設で場外車券の販売が出来るよう努力されたら如何ですか? 実行となれば各施設の近隣住民も我々の痛みがわかるものと思います。

今は〇〇党を除いて市長、議員ともども臭い物に蓋をしている状態ではないですか?。

競輪事業は昭和24年、戦後復興のために始められました。特に、機械改良、輸出振興、体育振興、そして、地方財政を潤すことがその目的でした。小田原市も現在までの53年間で、約850億円の市への繰入がありました。ここ数年5~6億円程度になっています。

また来場者は減っていますが、乗用車による来場が増え、周辺交通の混雑はあまり改善されていません。また、昼休みに乗用車で買いに来る方も多く、時間帯によって混雑状況が大きく異なっています。

視察当日は、周辺の交通状況や施設内の設備等を視察してきました。9:30と11:30では、周辺の混雑はほとんどありませんでした。競輪場側も交通対策として警備員や駐車場の適切配置に努めていますが、物理的な問題もあり抜本的な解決はできていません。この点では近隣住民の犠牲の上に成り立っていると言えます。小田原競輪は、他自治体の撤退などで、競合する開催が減り、むしろ売上げは上昇傾向にあります。また従業員給与や員数の見直しにより、経営状況は、徐々に改善される見込みです。

当面は、周辺対策を充実させることと、廃止も視野に入れた積立をしていくことです。（武松）

武松政策研究会 勉強会のお知らせ

日 時：9/20（土）18時～20時

場 所：マロニエ2階 集会室204

テーマ：「小田原の発展」簡単な資料をもとにフリーディスカッション

どなたでも自由に参加できます。参加費100円

終了後、実費で懇親会を行います。懇親会だけの参加もOKです。



ホームページでは、日刊武松（日記）や、月刊武松のバックナンバー、一般質問の会議録も見ることができます。Yahoo!で「武松忠」または、「たけまつただし」と入力すると検索できます。

URL <http://www6.airnet.ne.jp/takematu/> I-mode <http://www6.airnet.ne.jp/takematu/i.htm>

寄付は、ジャパンネットバンク 本店 普通口座 7941377 タケマツタダシ

さがみ信用金庫 大井町支店出張所 普通口座 0051228 武松政策研究会 武松忠 まで

月刊武松は本人が配布しているため、行き届かないところがありますが、読み終わりましたら知合いの方にお渡しいただくと幸いです。また、eメールでも送付していますので連絡下さい。